

CASBEE® 広島

■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(株)イムロ広島第二工場新築工事	階数	地上2F
建設地	広島県広島市安佐北区安佐町大字	構造	S造
用途地域	都市計画区域及び準都市計画区域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年5月末 予定	評価の実施日	2017年9月15日
敷地面積	11,953 m ²	作成者	土井原 毅
建築面積	7,095 m ²	確認日	2017年9月15日
延床面積	7,443 m ²	確認者	土井原 毅

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.1 ★★★★★★☆☆☆☆</p> <p>S: ★★★★★★ A: ★★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>★☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆</p> <p>30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>②建築物の取組み 73%</p> <p>③上記+②以外の 73%</p> <p>④上記+ 73%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.5</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.0</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.2</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 広島市の重点項目		
<p>重点項目の総平均スコア = 3.5</p>		
<p>「地球温暖化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.9</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 / トップライトの採用 / 全館LED照明の採用 / / 節水器具の採用 / LED照明の採用により運用段階でのCO₂排出量を削減</p>	<p>「ヒートアイランド対策」の推進</p> <p>スコア = 2.2</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 /</p>	<p>「長寿命化対策」の推進</p> <p>スコア = 3.3</p> <p>設計の計画上特段に配慮した事項 外壁材、内装材、設備配管について耐用性の高い材料を選定。 /</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される